

校 長 挨 拶

山形市立金井小学校

校長 黒田 靖彦

今年度より、金井小学校校長を拝命しました黒田靖彦と申します。どうぞよろしくお願いたします。

令和8年度、金井小学校は、100名の新入生を迎え、全校児童697名でスタートしました。毎朝、ほなみっ子の「おはようございます！」という元気な挨拶が学校中に響いています。

さて、本校の学校目標は「かしこく なかよく いきいきと」です。4月8日の始業式、次の日の入学式では、子どもたちの心に、「かしこく学ぶ種（たね）」「なかよくなる種（たね）」「いきいきとがんばる種（たね）」をプレゼントしました。この3つの種から芽を出して、ぐんぐん伸びて、一年後には一人一人が大きな花を咲かせるように、みんなでがんばろう！と呼びかけました。

めざす子ども像は「幸せな未来を創る力を身に付け挑戦する『か』『な』『い』の子ども・ほなみっ子」です。「挑戦する力」を育むために、どんな課題においても、自ら気づき、自分ごととして考え、行動することを意識付け、指導・支援してまいります。また、友だちとトラブルになった時は、子どもたちが成長する貴重な機会と捉え、まず、自分の心と向き合わせ、じっくり考えさせながら、「解決する力」や「乗り越える力」を養うことを大切にまいります。

また、複数の目で子どもを見ることで、子ども一人ひとりのよさを多面的に引き出し、伸ばすことができるよう、交換授業や教科担任制を効果的に取り入れ、学年主任を中心にして学年チームで連携する体制を充実させていきます。

さらに、教職員が心身ともに健康な状態で子どもたちにしっかりと向き合えるよう、働き方の工夫も進めてまいります。4月は可能な限り4校時授業とし、午後の時間を会議や教材研究に活用しております。年間通して、原則として毎週水曜日を4校時授業とし、教職員同士の連携を深めながら、より充実した授業や学級経営を行ってまいります。

今年度の学校研究の主題は「自ら課題を解決する子どもの育成」です。人工知能の発達とともに進化する予測不能な世の中を生きていくためには、自ら課題を見つけ解決し、未来を主体的に切り拓いていく資質・能力の育成が求められます。「自ら問いを立て、見通しをもち、課題解決をして振り返る」という学びの過程を子ども自身が丁寧に踏みながら、主体的に課題を解決できるような授業づくりに取り組んでいきます。

教職員一同、「チーム金井」として心を一つに合わせ、子どもたちに寄り添い、指導・支援してまいります。今年度も、保護者の皆様、地域の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

